



防災教育チャレンジプラン

地域から学び、地域とともに取り組む 防災教育



熊本県 芦北町立田浦小学校



プランの目的

- ① 児童の**防災意識**や防災に関する**実践力の向上**
- ② **過去の災害**から学ぶ**防災教育の計画**
- ③ 地域の**防災意識の向上**
- ④ 地域全体への**防災啓発**



- ① 年間計画による防災教育や実践的避難訓練
- ② 過去の災害から学ぶ防災教育
- ③ 防災フェスタ、防災劇や防災に関する発表
安否札、防災チェックリスト
- ④ 絵本や紙芝居、ポスターの配付、防災掲示物



防災教育年間指導計画

第 6 学年 防災教育年間指導計画

5・6学年の目標

- ・様々な自然災害について、発生のメカニズムや特徴、避難や応急処置等、対処方法を理解する。
- ・自然災害発生時の情報に基づいて自らが適切に判断し、安全な行動をとることができる。
- ・自己の安全を確保しながら、下級生の安全にも配慮することができる。

月	教科・領域等	単元名・教材名	指導内容	指導計画
5	理科	季節と生き物	生物と環境の関わりについて理解し、生き物が生きていくために何が必要かを考え、命の大切さを理解させる。	
6	道徳	土石流で救われた命	自分たちの生活が、互いの助け合いや協力によって成り立っていることに気付き、感謝する心情を養う。	
7	道徳	東京大空襲の中で	生きとし生けるものを慈しみ、かけがえのない命を大切にしようとする態度を養う。	○
7	総合	防災博士になろう (急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう)	天気の変化による大雨・雷・竜巻の予兆や身を守るための適切な方法について、学ばせる。	

各学年の目標

5・6学年 の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な自然災害について、発生のメカニズムや特徴、避難や応急処置等、対処方法を理解する。 ○自然災害発生時の情報に基づいて自らが適切に判断し、安全な行動をとることができる。 ○自己の安全を確保しながら、下級生の安全にも配慮する。
3・4学年 の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害時における様々な危険と自然災害に応じた適切な避難の仕方を知る。 ○自然災害に対して、回避するための安全な行動をとることができる。 ○学んだことを家庭で伝えたり、困っている人がいたら近くの大人に知らせたりすることができる。
1・2学年 の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な自然災害があることや自然災害に応じた避難の仕方を知る。 ○近くの大人の指示に従い、行動することができる。 ○基本的な生活習慣を身に付け、自分のことは自分でできるようにする。



各学年の防災教育年間指導計画（抜粋）

6年	道徳	東京大空襲の中で	命を大切にしようとする態度を養う。
5年	理科	天気の変化	天気の変化は予想できることを知らせる。
4年	総合	町の防災について調べ伝えよう	自分の町の防災について調べたことを伝えよう。
3年	国語	かるた	「防災カルタ」を作り、防災について考えさせる。
2年	学活	あぶないばしょはどこ？	地震が起きたときの対応の仕方を知る。自分の命を守るための方法を考えさせる。
1年	生活	地震から自分の命を守ろう	自分の命を守るためにどのように行動すればよいのかを考えさせる。

- 低・中・高学年ごとに防災目標を設定
- 普段の学習の中に防災教育を位置づけ



3年生 「総合的な学習の時間」

「ボランティア名人になろう」

- ・ 福祉体験
- ・ 避難の仕方
- ・ 自分にできること



防災マップ (災害弱者の立場から)



手すりがある

音のなる信号

川におちる

みちがほそい



町探検後の感想 (3年生)

分かったこと・まとめ

- 体が不自由な人にとってきけしな所が多かった。
- 学校の近くに、いろいろな道があったから体の不自由な人はきついと思う。
- リフトにみぞがあった。
- あそびんじやの近はでこしほこやたんがあったから目が不自由な人はあぶない。
- 不べんな道がいっぱいあった。
- 不べんじゃない道もあった。

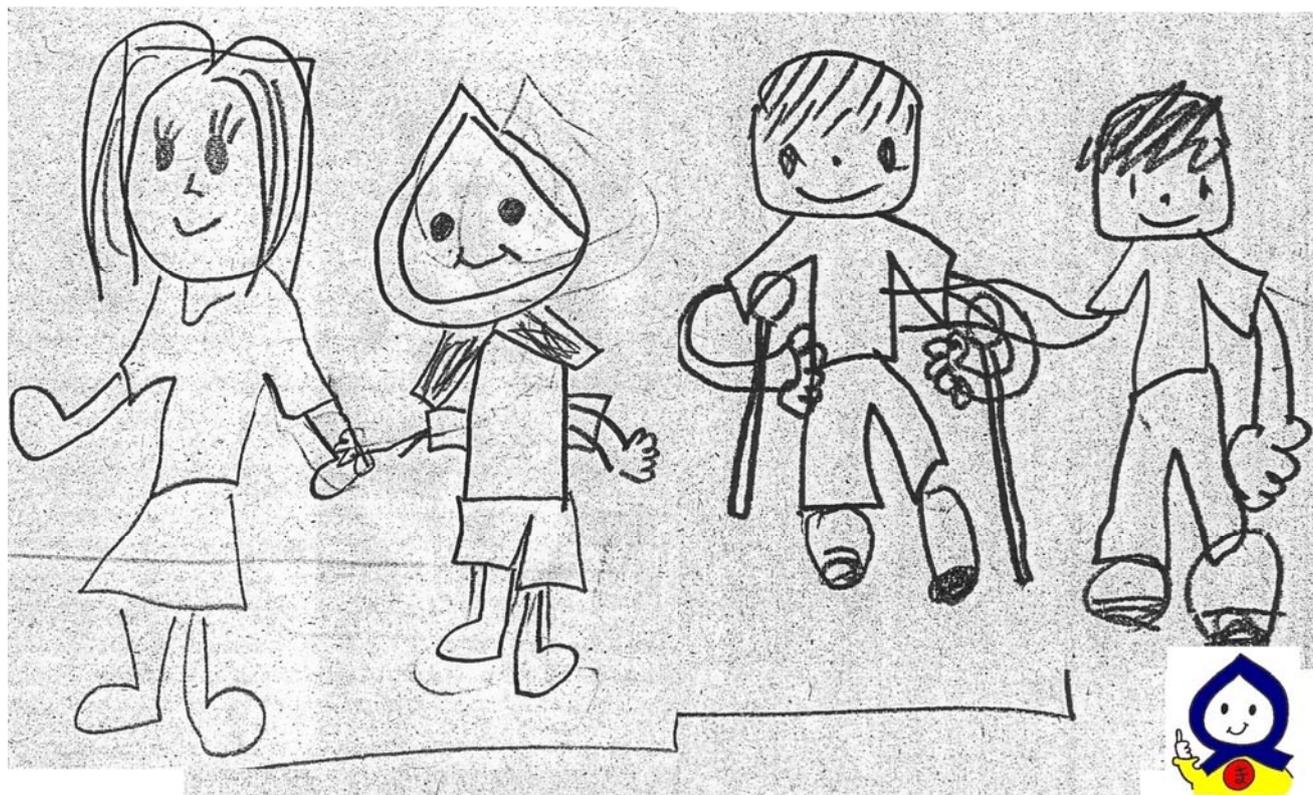
さいがいから身を守るために、できることを考えよう

- 車いすの人をおす。
- 目が不自由な人の手をひいて
- にもつを持ってあげる。
- にける。
- いっしょにひなんする。

感想 今日、体の不自由な人がいる所にさいがい
が来たら、いっしょに、にげようと思いました。



防災掲示物の原案



原案から作成した掲示物



1枚、1枚児童が丁寧に色をぬりました。

3学期中に公民館に掲示する予定



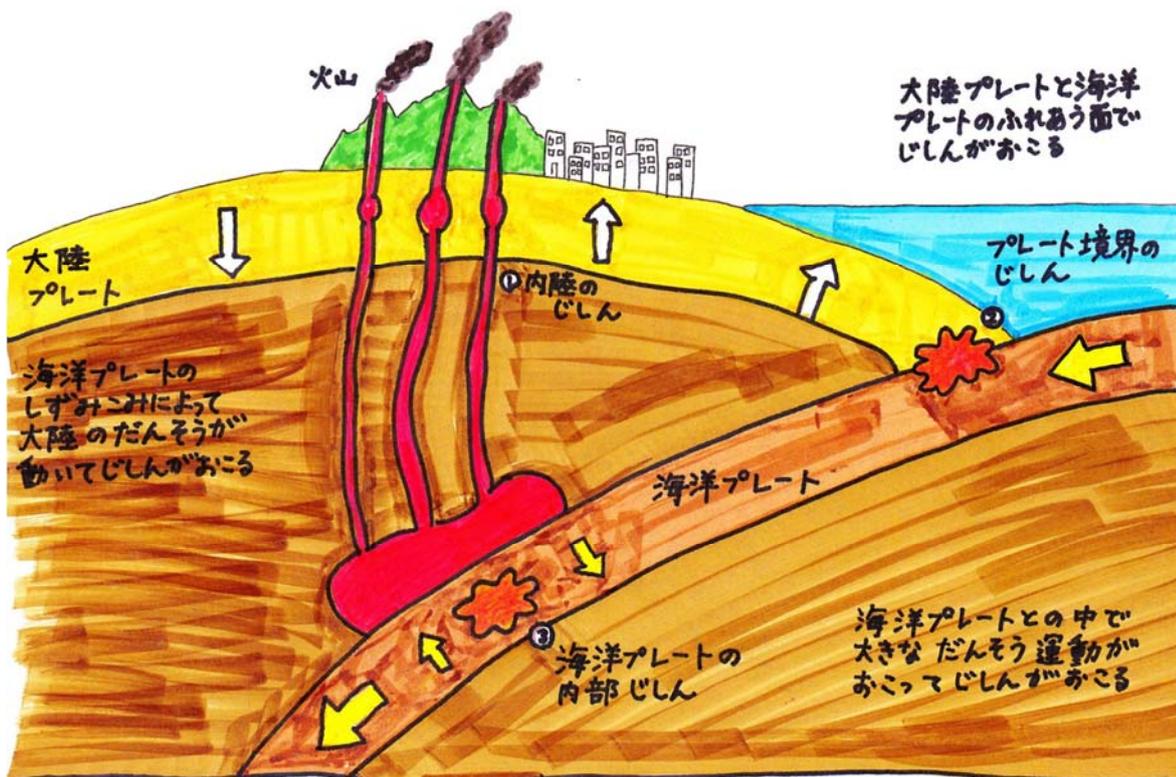
5年生 「総合的な学習の時間」

「災害から命をまもろう」

- ・ 昭和57年の水害の写真を活用
- ・ グループごとに調査
- ・ 地域の防災に役立つものを作成
- ・ 学習発表会で地域住民や保護者に対し発信



5年生が作成したスライド



5年生が作成した安否札



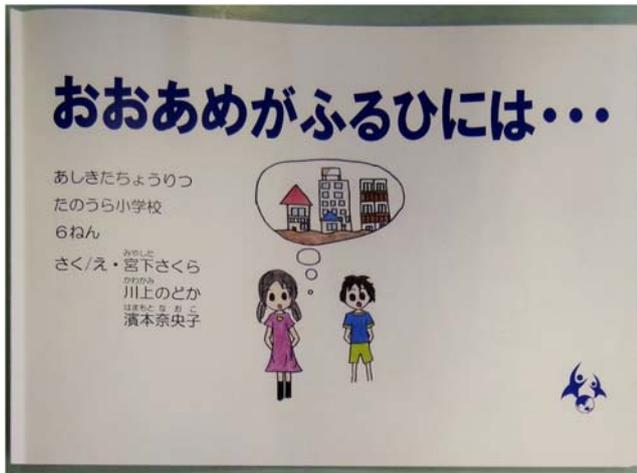
6年生 「総合的な学習の時間」

「伝えよう！わたしたちの町の防災」

- ・ 水害経験者の講話
- ・ 水害や災害について調査
- ・ 絵本、紙芝居、ポスターなどの作成
- ・ 防災劇や防災に関する発表



防災絵本



防災絵本①（小学校低学年用）

「ほかには、なにを するの？」
みくちゃんが、アメルに ききました。
『ひじょうようもちだしぶくろ』を そなえて おくことだよ。」
『ひじょうようもちだしぶくろ』
って なに？」
りょうくんが ききました。
「それは、もしものとき ひつよ
うな ものが はいっている
ぶくろの ことだよ。たのうら
しょうがっこうの 『まもるくん
の へや』にも おいて あるか
ら みてみると いいよ。」

Illustration of disaster preparedness items: a green shirt and blue shorts (きかえしたぎ), red sunglasses (ふいえ), a yellow backpack (リュックザック), a first aid kit (きゅうきゅうセット), a yellow blanket (ラップフルム), a blue water bottle (みず), a blue bag of instant noodles (ひじょうしやくカンパン), a blue portable radio (かいちやうでんどうラジオ), and a blue bag of money (おかね) with 1000円, 5000円, and 1000円 bills, and two blue cans of instant noodles (めんち).

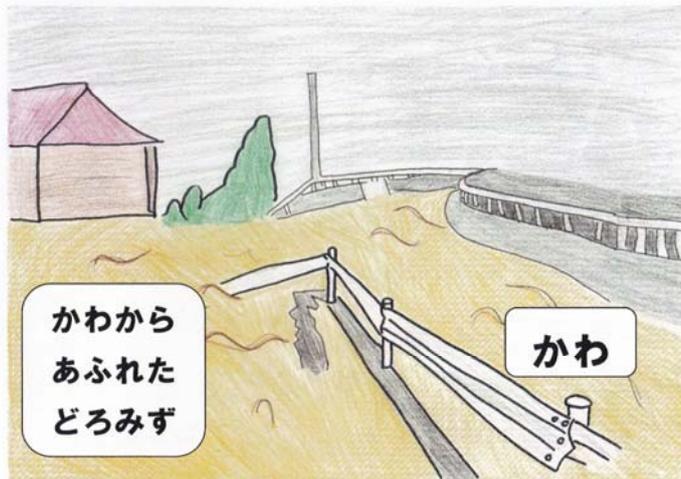
Small illustration of a blue character with a yellow body and a red circle on its chest.

防災紙芝居



防災絵本②（保育所・幼稚園用）

「こうずいは、たくさん あめが ふって かわなどから 水が あふれる しぜんさ
 いがいのこと なんだよ。
 きみたちが すんでいる
 あしきたでも むかし
 あめが たくさん ふって
 たくさんの おうちが
 みずびたしに
 なっちゃったんだよ。」
 「え〜っ。そんなことが あっ
 たんだ。」



たのうらしょうがっこうの ちかくの かわの ようす（しょうわ57ねん 7がつ）
 たくさん あめが ふったので、たのうら しょうがっこうの ちかくの みちは、みずの ちからで
 こわれて しまいました。こわれた ところから たくさんの どろみずが しょうがっこうの うん
 どうじょうに ながれて きました。



児童の実態に応じた実践的避難訓練



教室以外の場所での地震避難訓練



「防災フェスタの実施」



水消火器体験



防災グッズ



けがの手当て



AED体験



保護者向け防災教育 「ちょこっと防災」

 **ちょこっと防災** テーマ「火災発生時の対応」 No.1  2014.11.30

火事を見つけたとき

1 通報 大声で「火事だ!」と叫ぼう

○大きな声で叫んだり、非常ベル、音の出るものを叩いたりして、隣近所に知らせる。
○どんなに小さな火事でも119番に通報する。

2 初期消火 出火直後が勝負

○火がまだ横に広がっているうちなら消火は可能。
○消火器や水だけでなく、蓋ぶとんや毛布など、身近なものを最大限に活用しましょう。

3 避難 危険を感じたらすぐ避難

○避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断。すみやかに行動を。

火元別の消火方法

ストーブ
・消火器は直撃火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は、粉末消火器で。
電気機器
・コンセントかブレーカーを切り、粉末消火器で消火。泡消火器などは感電の恐れがあるので使用しないようにしましょう。
カーテン・ふすま・障子
・カーテンなどには燃え広がる恐れがある。火がついたら、引きちぎってから消火する。
・ふすまや障子などはけし、足でふんで消す。その後、水をしっかきかけて消火しましょう。
コンロ(天ぷら鍋)
・まずコンロの火を消す。水をかけるのは厳禁。
・粉末消火器はすべての全面を覆うように、強化炭酸消火器はすべてのふちに向けて噴射する。
・消火器がない場合は、ぬい布シーツやバスタオルを手前からかぶせ、空気を遮断する。

家庭でも話題に

・火災が発生した時、どうすればよいかわからない家庭でも避難に慣れておいてほしいが、特に子供たちには、火事が発生した時どう行動すればよいかわかるように伝えておきたい。火は私たちの生活に欠かせないものです。子供たちが火と上手に付き合っていくようにご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

 **防災教育チャレンジプラン**
この「ちょこっと防災」は、防災教育チャレンジプランの支援を受けています。
参考資料 「防災町 防災マップ ハザードマップ」(2014.3)



保護者向け防災教育 「ちょこっと防災」

火事を見つけたとき

1 通報

大声で「火事だ!」と叫ぼう

- 大きな声で叫んだり、非常ベル、音の出るものを叩いたりして、隣近所に知らせる。
- どんなに小さな火事でも119番に通報する。

2 初期消火

出火直後が勝負

- 火がまだ横に広がっているうちなら消火は可能。

3 避難

危険を感じたらすぐ避難

- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断。すみやかに行動を。



保護者向け防災教育 「ちょこっと防災」



防災通信

芦北町立田浦小学校 No.1 2014.12月発行

田浦小では、昨年度に引き続き防災教育に取り組んでまいりました。今年度も小・中合同避難訓練、保護者への児童引き渡し訓練、第二回たのうら子ども防災フェスタなど様々な防災に関する実践を行ってまいりました。今回は、田浦小学校が取り組んだ防災に関する実践を紹介します。

小・中合同避難訓練

田浦小では、6月6日に田浦小と田浦中合同の避難訓練を実施しました。当日は、地域住民の方にも参加していただくなど実践的な訓練を行うことができました。芦北消防署職員の講話から道路の真ん中を避難することや建物から避難するときは頭を手で守りながら頭上に気を付けて避難することを教えてもらいました。

児童引き渡し訓練

今年度は保護者への児童引き渡し訓練も実施しました。訓練には多くの保護者の方に参加していただき、災害時に児童を確実に保護者に引き渡すためにどうすればよいか検証することができました。今回の訓練で出た課題は次年度の訓練までに改善し、確実な引き渡しとなるように今年度の計画を見直します。

第二回たのうら子ども防災フェスタ

防災グッズづくり

けがの手当て

心臓蘇生法

水消火器体験

7月5日(土)には、第二回たのうら子ども防災フェスタを開催しました。昨年の防災フェスタは児童のみの参加でしたが、今年は保護者や地域住民にも参加を呼び掛けました。おかげさまで児童や各ブースのスタッフを含めると参加者は総勢300人となる大規模なイベントとなりました。今年度の防災フェスタの目的は「地域や家庭の防災意識を高める」ことでした。参加された保護者や地域の方々の感想として「災害の恐ろしさを実感しました。」や「家庭でも気を付けようと思います。」というコメントがありました。防災フェスタの間際が地域の防災に少しでも役立つものとなるように今後も改善していく予定です。多くの方々に参加していただき、本当にありがとうございました。

安否札、災害時に必要な道具チェック表を準備中

田浦小の5年生が総合的な学習の時間を使って、安否札と災害時に必要な道具チェック表を作成しました。今後、地域に配布する予定です。非常時の道具の準備や避難するときに使っていれば幸いです。詳しくは、田浦小までお問い合わせください。

この防災通信は、防災教育チャレンジプランの支援を受けています。

防災教育チャレンジプラン

防災通信の発行

- ・各地区の掲示板に掲示
- ・各地区の回覧板で回覧

記事の内容

- 小・中合同避難訓練
- 児童引き渡し訓練
- 防災フェスタ
- 安否札や道具チェック表配付のお知らせ



成果

- 児童の防災意識、実践力の向上
- 地域防災への貢献
- 地域の防災意識の向上
- 避難マニュアルの改善
- 地域住民や地域の関係機関とのつながり
- 持続的な防災啓発



課題

- 引継ぎと情報共有が重要
- 多くの災害を防災教育で学ばせることの難しさ
- 小・中連携の重要性
- 田浦小の防災キャラクターの活用
- 防災フェスタや避難訓練と防災教育との関連付け
- 避難訓練の課題から見える学校生活上の課題



ご清聴ありがとうございました

